



THE SERVICE CLUB OF THE YMCA

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

The Y's Men's Club of Nagoya

CHARTERED AUGUST 27, 1947

c/o NAGOYA YMCA 2-7, HARUOKA, 1CHOUME CHIKUSA-KU, NAGOYA, 464-0848 JAPAN

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

主 題 (2017 / 2018) 2017 ~ 2018 6 月号 (No854)

国 際 会 長 「ともに、光の中を歩もう」

ア ジ ア 会 長 「ワイズ運動を尊重しよう」

西 日 本 区 理 事 2022 年に向けて「心身の健康づくりから、クラブの健康づくりへ」

中 部 部 長 「愛し合い、助け合い、心はいつも青春」

名古屋クラブ会長 「ワイズは楽しく、有意義に」

6 月例会プログラム

と き: 2018年6月12日(火) 7:00p.m. ~ 8:30p.m.
 と ころ: 名古屋 YMCA

司 会 久保田啓君
 開会宣言 会 長 谷川 修君
 ワイズソング
 聖書朗読・祈禱 川本龍資君
 食 事
 プログラム
 ① 今期の振り返り
 ② 次年度方針の協議 等
 ハッピーバースデー
 ドライバースピーチ 尾関 明君
 YMCA の歌
 閉会宣言 会 長 谷川 修君

2017 - 2018 年度をふりかえって

谷 川 修

今期の名古屋クラブは、チャーター 70 年を基本に据えて活動を展開しました。活動方針は、「①明日のリーダーを育てる。②地域活動を地域の人々とともに行うことで、認知度を高める。③若い力を吹き込むことで 活性化を図る。④ IBC、DBC のみならず、広く交流を図る。⑤第一例会の充実 ⑥広報に力をいれる。⑦ YMCA 活動をバックアップする。」でした。

改めてふりかえってみますと、④広く交流を図る。⑤第一例会の充実 ⑦ YMCA 活動をバックアップする の3点は、70周年記念事業のとりくみもあって、想定したこと、もしくはそれ以上の実績を積み上げられたかなと自負するものですが、他の①②③⑥は、成果とよべるような実績を積み上げられなかったと反省しきりです。3月4日に開催した70周年記念例会は、クラブ総員に近い取り組みとなり、133名ものワイズ、元ワイズ、支援する団体の皆様にご参集賜り、ホスピタルクラウンの大棟耕介氏のトーク&パフォーマンスに大感激をしていただき、大成功を遂げたとの満足感があるのですが、これが、次の100年につなぐものとなったのかという点では疑問が残ります。これを区切りとばかりに、相次いで退会の申し出が、長老的なメンバーから出されました。何とか慰留につとめていますが、それぞれの退会の理由を聞くにつけ、年齢的なこと、体調

第 2 例 会

と き: 2018年6月19日(火) 7:00p.m. ~ 8:30p.m.
 と ころ: 名古屋 YMCA
 プログラム: 次年度プログラム その他

7 月号 原稿担当者

巻頭言 深谷 聡君 第一例会レポート 川口 恵さん

会 長 谷川 修 書 記 川本 鈴木(貞)
 副 会 長 常川 鬼頭 会 計 塩田 川口
 プリテン 久保田 伊左治 川口 平野

5 月クラブ出席		B F	5 月 個 人 出 席					第 1 例 会 (5/8)	
在 籍	24 名	切手 267pt	伊左治	○	塩 田	○	広 瀬	◎	第 1 例 会 (5/8) (メネット) 伊左治 深谷 中部 EMC シンポジウム評議会 (5/19) 谷川 川口 河部
第 1 例会	16 名	現金 15000pt	尾 関	○	鈴 木(貞)	○	深 谷	○	
メネット	2 名		小 尾	○	鈴 木(孝)	○	義 井	○	
ゲスト・ピジター	0 名	小計 15267pt	可 知	○	相 馬	◎	渡 辺	◎	
第 2 例会	10 名		川 口	○	谷 川	◎			
メネット	名	切手 983pt	川 本	◎	常 川				
ゲスト	名		河 部	○	寺 田				
メーキャップ	0 名	現金 15000pt	鬼 頭	○	中 村	○			
出席率	75%		現 金 15000pt	木 本	○	西 村	◎		
メネット会	名	合計 15983pt	久保田	◎	平 野	◎			
ゲスト	名								
									○第 1 ○第 2 ◎第 1・第 2 Mメーキャップ

不良のこと等、退会もやむ無しかと思えます。輝かしい一時代を築いてきて下さったメンバーにいつまでも頼りきりであったことを真摯に反省しないといけないと思います。何より、自分のような60代とそれより若手がもっと 会員増強を本気で取り組まないといけないと、期の終盤になって思い知ら

されています。バトンを次期会長に渡すに際して、この点を大きな宿題とし、一緒になって取り組んでいきたい思います。

.....

■ ■ ■ 第 1 例会レポート ■ ■ ■

と き：2018年5月8日（火） PM 7：00～8：30

ところ：名古屋 YMCA

風薫る五月の第一例会は、卓話講師に近藤よし恵氏を迎え「人生泣き笑い、よもやま話～YMCAに始まり、今の司会、朗読講座の講師時代を通じて～」と題し、YMCAスタッフ時代から今に至る体験からお話頂いた。近藤氏は名古屋YMCAを退職後に資格を獲られ、話し方やマナー講座の講師でご活躍されており、講師になられた後も太田川にあった東海YMCAでは、常設講座として多くの会員に「おしゃれな話し方」と「マナー講座」を皮切りに上前津、代官町、現在の春岡と歴代の名古屋YMCAの会館で講師を務められ、講座黎明期から今に至る30年近く講座に続けて生徒の数名が宝だと仰られた。現在は朗読講座が人気を博して講座も満員で盛況とのこと。今あるのもYMCAでの経験が生かされているとまた、各企業等の新人研修で毎年テーマを決め「呼吸する」「伝える、伝わる」「使命・理念を大切にする」「実修・

実証」などのテーマで指導をされており、今年は、「声は人なり」のテーマで言葉は、心の隙間を埋めるものとして最高の道具であり、大切にすると改めて教えて頂いた。また、相手の気持ちを配慮する言葉で「クッションことば」を多く使える方は心豊かで社会的成熟な人だと教えられた。以前、自分も人なら相手も人だと教えられたことを思い出し、言葉の大切さを改めて感じた例会だった。



.....

■ ■ ■ 第 2 例会レポート ■ ■ ■

と き：2017年5月15日（火） 19：15～21：00

ところ：名古屋 YMCA 本館 5F

・1960年代にYMCA英語学校を出られ、そのままYスタッフとして社会人生活をスタート！

懐かしいお話と共に、「話し方」「朗読」の講座のエッセンスを分かり易くお話くださった。

→ 暫くプリテンを送り続け、クラブ入会をお誘いする事を全員一致で決定した。

2. 6月度第一例会について

- ・今年度の振り返り（谷川会長、各事業委員より）
- ・次年度方針を深谷次期会長に発表いただき、7月のキックオフに備える

3. BF代表受け入れについて

・5月末～6月下旬まで、東日本区大会・西日本区大会への出席を主目的とする、BF代表が来日。

トッド&カレン・ロビンソンご夫妻（カナダ・マリタイム区）。基本は両大会の前後の日程で、東京地区・関西地区のワイズにより展開いただくが、「日本の自動車文化」について興味があるとの事で、西日本区大会終了後、東京に戻られる6月12日・11時～16時、名古屋に立ち寄られる事が決定した。当日は西村君、塩田君を中心に案内していただく。在名4クラブにも声を掛け、BF代表をお迎えする事とする。西日本区TCとの窓口は川本が行い、皆さんに展開する。

- 4. 地域奉仕（CS）事業：潮干狩りについて
 - ・日程：6月30日（土）10：00～14：00
 - ・場所：矢梨海岸（矢梨海岸は広いので明確な場所を確認のこと：谷川会長）
 - ・招待者：①南山寮の子どもたち ②日本語学院の留学生
 - ・参加者：①②招待者プラス名古屋クラブメンバーとその家族
 - ※参加者人数の把握と送迎について
 - ・南山寮担当は谷川会長、日本語学院担当は中村総主事。クラブメンバーについては、6月例会時に欠席を取り確認する。
- 5. 名古屋YMCA全体行事（会員活動プログラム）について
 - ・今年度、名古屋YMCAの会員活動プログラム（チャリランなど）は、各々に委員会を設置し会員主導で実行していく事が名古屋YMCAの方針。
 - 5月16日（水）各プログラムの実行委員長と担当スタッフにて推進委員会を開催。クラブメンバーには、6月例会にて会員活動プログラムをPRし、各委員会への参加を呼

- びかける。
 - ※名古屋YMCA早天祈祷会向けに年間3万円を名古屋クラブから拠出した旨が西村メンよりあり、協議の結果第二例会出席者からは賛同が得られた。6月第一例会に諮り最終決定する。
- 6. 国際、西日本区及び中部の行事から
 - ・5月19日（土）中部EMCシンポジウム 評議会
 - ・6月9日（土）～10日（日）第21回西日本区大会（神戸）
 - ・8月9日（木）～12日（日）第73回国際大会（韓国・麗水）
 - ※名古屋クラブの広瀬連絡スタッフが、在名4クラブの代表として西日本区大会に出席が決定。
- 7. クラブ会則の見直しについて
 - ・名古屋クラブの会則について一部見直し必要箇所がある為、これをきっかけに全体を見直すことを決定した。
(川本龍資)

今月の聖句

『イエスは言われた。「ある人に息子が二人いた。弟の方が父親に、『お父さん、わたしが頂くことになっている財産の分け前をください』と言った。そこで父親は財産を二人に分けてやった。何日もたたないうちに、下の息子は全部を金に換えて、遠い国に旅立ち、そこで放蕩の限りを尽くして、財産を無駄遣いしてしまった。』

ルカによる福音書 15 章 11 ～ 13 節
西村 清

「放蕩息子」の有名な話で、ルカ福音書 15 章 11 節から 31 節まで続きます。レンブラントの「放蕩息子の帰郷」という有名な絵（原画）がエルミタージュ美術館に置かれています。

この放蕩息子の話は多くの教訓を含んでいます。財産の分け前をもらって、自由を求めて父の下を離れ、結局放蕩に身を持ち崩して、分けてもらった財産を使い尽くします。食べることに窮した時、「ふと、我に返り」、息子と呼ばれる資格はないが、父の下に帰って雇人の一人にしてもらおうと帰ってきます。すると父は、まだ遠く離れていたのに、息子を見つけて走り寄り、しっかりと抱きかかえ、雇人の一人ではなく、再び息子として大喜びで迎えます。

しかしそれを見ていた兄が腹を立て、財産の分け前をもら

.....

って放蕩に身を持ち崩した弟が帰ってくると、自分が経験したことがないほどの歓迎をして弟を迎える。弟が落ちぶれ、どうにもならなくなると、家に帰ってくる。落ちぶれたのは自業自得ではないか。それは自己責任だと、突っぱねます。そして父の弟に対する態度に腹立たしく思うのです。

私たちの常識では、この兄の考え方に賛成で、弟はまさに自業自得だということなのです。この考えを広げていくと、自分が貧しいのも自分の責任、自業自得だということになります。しっかり勉強して、努力してそれなりの会社に正社員として雇われていれば、そんなことにならない。貧しいのも自己責任だと決めつけてしまいます。

しかし父の態度は全く違います。相手(弟)がどうあろうと、最大限の愛で包み込む（レンブラントの絵はそのことに光をあてた作品です）。聖書では「父」は神さまのことで、隣人(相手)がどのようなであろうと、精いっぱい愛で包む姿を描いているのです。YMCAまたはY'Sの基本姿勢がここに示されているように思うのです。しかし我々は時として、この兄のような生き方をしているのではないかと、自らを省みてそう思うのです。

西日本区強調月間リスト 6月 評価・計画

10の目標のうち、5割達成できれば上出来。さあ、あとひと月、あなたの目標達成度を、あと1割引き上げましょう。実践を通して。

大野 勉 理事（神戸ポート）



Menettes of Nagoya Y's Men's Club

EMC シンポジウムが開かれました

5月19日(土) 午前11時から12時30分、名古屋YMCA本館5階にて2017-2018年度中部のEMCシンポジウムが開催されました。津クラブを除く7クラブから21名参加のシンポジウムでした。最初に、三科西日本区EMC事業主任から、西日本区の現況とワイズ盛衰のポイントの話が、いくつかのクラブの特徴を交えて話題提供がなされ、次いで、ワイズ将来構想特別委員会制作の新生ワイズ起し運動のDVDを視聴し、荒川ワイズが「中部の現

状資料」を提示して、補足説明をされました。二人の話題提供を受け、中部各クラブからMCに関する現状と課題などが報告されました。共通していることは、メンバーの高齢化により、早晩クラブ消滅に至ってしまうという現状。その現状への危機感を共有化し、そうならないためにどうするか、突っ込んだ話は今後を持ち越されました。昼食をはさみ、今期と次期の評議会も開催されました。名古屋クラブからは、河部、川口ワイズと、私の3名でした。(中部EMC主査代行 谷川)

2018年～2019年 各担当

月	巻頭言執筆	第一例会司会	ドライバー	第一例会レポート
7	深谷 聡	谷川 修	相馬 静香	河部 薫
8	小尾 雅彦	鈴木 貞祥	谷川 修	川本 龍資
9	川口 恵	鈴木 学	常川 晴生	鬼頭 栄子
10	河部 薫	相馬 静香	中村 隆	木本精之助
11	川本 龍資	常川 晴生	西村 清	久保田 啓
12	鬼頭 栄子	2部 深谷聡	なし	塩田 保

月	巻頭言執筆	第一例会司会	ドライバー	第一例会レポート
1	深谷 聡	中村 隆	平野 実郎	鈴木 貞祥
2	木本精之助	西村 清	広瀬 謙一	鈴木 学
3	塩田 保	平野 実郎	義井 裕子	相馬 静香
4	鈴木 貞祥	広瀬 謙一	渡辺 真悟	中村 隆
5	鈴木 学	義井 裕子	小尾 雅彦	西村 清
6	深谷 聡	渡辺 真悟	川口 恵	広瀬 謙一

YMCA ニュース

夏プログラムのパンレットが完成し、申込が始まっています。プログラムに備え、リーダートレーニングも始まっています。今年も多くの子どもたちが安全に夏プログラムに

参加できるように、スタッフ一堂準備を進めています。

YMCA 6月の予定

6月24日(日)バレー発表会

CS 献金

	現金	年賀切手
尾関 明君	1,500	3枚
川口 恵さん	1,000	4枚
河部 薫君	1,500	
川本 龍資君	1,500	
久保田 啓君		5枚
塩田 保君	1,000	7枚
相馬 静香さん		7枚
谷川 修君	1,500	4枚
西村 清君	1,500	
深谷 聡君	1,500	
義井 裕子さん	1,500	
深谷 朗子さん		2枚
合計	12,500	32枚×144 (4608)

メネット

メネット	メネット
6月12日 渡辺真悟君	6月22日 平野愛子さん
19日 可知 将君	

BF

切手	現金
木本精之助君 33pt	尾関 明君 1,500
西村 清君 72pt (4月分)	川口 恵さん 1,500
90pt	河部 薫君 1,500
柴田カツヨシ君 72pt (寄贈)	川本 龍資君 1,500
	塩田 保君 1,500
	相馬 静香さん 1,500
	谷川 修君 1,500
	西村 清君 1,500
	深谷 聡君 1,500
	義井 裕子さん 1,500

[お願い] CS及びBFの献金について5月現在0ポイントの方は6月例会にて是非ご協力ください。